

公益社団法人
MED 地域医療振興協会 湯沢町保健医療センター



センターだより

“やさしさに 言葉の温度で めくもい添えて”

6 月号

〒949-6101 新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢 2877-1
 TEL (病院) 186-025-780-6543 (歯科) 186-025-780-6544
 URL: <http://www.yuzawamed.jp> Mail: center@yuzawamed.jp

QR コード

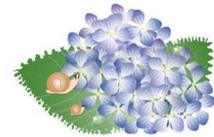


お知らせ

・6月9日(日曜日)に年1度行われるセンター内電気設備等点検を行います。例年通り、救急診療には差し支えないように準備いたしますが、一定時間、トイレ等ご不便をおかけいたしますがご了承ください。

・職員を募集しております。

看護師(正・臨)、介護福祉士(正・臨)、看護助手(正・臨)、医療事務員(臨)。詳しくはハローワーク求人票をご確認ください。(正=正職員、臨=臨時職員)



今月の休診のお知らせ

診療科	日(時間)	曜	医 師	診療科	日(時間)	曜	医 師
地域家庭診療部(予約あり)	3日、4日、5日	月~水	井 上	整形外科	28日	金	川 口
地域家庭診療部(予約なし)	12日	水	西 谷	歯 科	10日	月	笠 原
地域家庭診療部(予約あり)	28日	金	浅 井	歯 科	1日、22日	土	笠 原

今月の専門外来診察日のお知らせ

診療科	医 師	曜	診察日・その他
禁 煙 外 来	担当医師	火・金 (各午後)	完全予約制になります。 186-025-780-6543 で予約してください
コンタクト外来	窪田医師	木	13日、27日 (完全予約制： ☎025-780-6543)
小 児 科 (アレルギー)	中 島	金	7日(午後は予約患者様のみとなります)
口 腔 外 科	担当医師 (日本歯科大学病院医師)	水	12日、26日 歯科・口腔外科は予約制となります。 ☎025-780-6544 にお電話ください。

センター周辺の清掃活動を行いました



5月初め、センター親睦会主催による毎年恒例のセンター周辺の清掃活動を行いました。今年も雪解けが遅く、また当日の夕方は気温 10 度の中、多くの職員が参加いたしました。秋にも実施される予定です。

着任医師ご挨拶



地域の病院・診療所を見ることを兼ねて、いろいろな病院で勤務させていただいております。所属は伊東市民病院ですが、伊東にはしばらく勤務しておらず、前勤務地は山梨県の上野原市立病院で勤務しておりました。どうぞよろしくお願い致します。

【伊東市民病院 医師 竹内 章晃（たけうち あきてる）】

研修医師ご挨拶



東京慈恵会医科大学附属病院研修医 2 年目の奥野翔と申します。出身は東京都で、秋田大学医学部を卒業しております。地域医療研修ということで、普段は経験できない湯沢という地域を通じた研修を楽しみにしております。1ヶ月間と短い時間ではありますが、どうぞよろしくお願い致します。

【東京慈恵医科大学附属病院 奥野 翔（おくの しょう）】

CT装置が新しくなりました

開院以来約 11 年使用していた CT に替わり、5 月末から新しい CT 装置が入りました。ここで新しくなった CT について簡単にご説明させていただきます。この CT は 16 列マルチスライス CT といって、今までの CT が 2 列（この列というのは体を通り抜けたエックス線を受信する受け皿が何列並んでいるかを表す数です）だったのに対して 16 列と大きく増えました。これが増えると何がいいのか？それは、以前よりさらに細かく鮮明な写真を短時間で撮れることです。ちなみに最小で 0.5 ミリ間隔の撮影ができるので、ほんの小さな数ミリくらいの病気を発見しやすくなります。また、短時間と申しましたが、例えば肺の CT でしたら約 7 秒の息止め時間で全肺の撮影ができます。（いままでは約 13 秒）さらに、検査時間が短いということはエックス線を浴びる時間も短くなります。このことにより検査中の被ばく線量を少なくすることができます。このように、より質の高い検査を患者様への負担を少なくして提供できるのが、新しくなった CT の一番のポイントです。他にも今まであった内臓脂肪測定に加え、肺気腫の解析・血管や腸の中をバーチャル内視鏡のように見ることができるようになる機能・臓器や骨を立体的（3D 表示）に見る機能などいろいろなアプリケーションも備えています。このように新しくなった 16 列マルチスライス CT は、病気や怪我で検査をされる方や検診を受けられる方の診断に大きく貢献できることと思います。

【放射線室長 樋口】



鳥インフルエンザ（H5N9）対策



今回は、鳥インフルエンザについてです。ニュースなどでの報道でもありました通り平成 25 年 4 月 1 日付けの世界保健機関（WHO）の情報によると、中国で鳥インフルエンザ A（H7N5）に感染した患者さんが発生しました。このウイルスは鳥の間だけで循環するインフルエンザウイルスとされていました。しかし、今回の報道で人への感染が発表され、次の段階として人から人へ感染しないかが心配な所であり調査がすすめられています。「人から人へ感染する」事がはっきりすると鳥インフルエンザから“新型インフルエンザ”とよばれるようになりますが、現在のところ、このウイルスは“鳥インフルエンザ”の状態です。実態のわからない鳥インフルエンザに関して心配されている方もいるかと思ひます。この鳥インフ

ルエンザは、状況が揃えば人から人への感染しやすいウイルスになる可能性があります。現在中国で認められているインフルエンザウイルスが世界的な新型インフルエンザとして流行するのかこのまま終息するのかわかりません。夏場には流行がみられなくなっても、冬場に流行する事もあり、以前の新型インフルエンザの経験もふまえ準備をすることは大切です。日本の国全体では国内へのウイルスの流入や流行を防ぐために対策をたて、指定感染症として各自治体でも備えている所です。そして、現在ワクチン製造にむけて準備しています。もし感染した場合でも現在季節性インフルエンザ感染に使用されている抗インフルエンザウイルス薬（ノイラミニダーゼ阻害薬）が有効である事がわかっています。このウイルスの特徴がはっきりしない状況の今、新しい情報や正しい知識を得るようにしてパニックにならないことが大事です。なお現在のところ、38℃以上の発熱と急性呼吸症状（急な高い熱と咳や呼吸が苦しいなど）があったり、中国への渡航歴などから感染を疑う場合には保健所へまず連絡して頂く事になっています。流行状況によりますが、当院でそのような患者さまの診察時には（保健所へ連絡を行い）、通常の診察場所とは異なった場所（時にテントを立て）を使用する予定です。急な発熱、咳症状の出た時は、マスク装着、手洗い、うがい、自宅安静です、パニックになる必要はありません。どの感染症もそうですが、正しい知識と感染症に負けない体力をつくる普段の生活が大事です。これをきっかけに睡眠などの生活パターンや食生活を見直すのはいかがでしょうか？



【地域家庭診療部 院内感染対策委員長 西谷】



グリーンカーテン大作戦

一昨年から職員有志で始まった、病院受付前の高さ9m幅30mのグリーンカーテンづくり。今年もいよいよ始動です。一昨年はゴーヤ・ひょうたん・マンデビラ・ルコウ草・朝顔・ヘチマ・風船かずら・・とグリーンカーテンに向いているといわれた植物をたくさん植えてみました。結果は・・ヘチマは実の重さに伸び悩み、ひょうたんは病気で葉が枯れてしまい、ゴーヤも葉の伸びが今一つ、マンデビラ・風船かずら・朝顔も花が目を楽しませてくれた程度・・と残念な結果でした。その中で唯一、9mのてっぺんまで届いたのがルコウ草。「よし！今度こそは！！」とリベンジしたのが昨年です。ガラス窓一面をあの可愛い赤い小さな花と涼しげな葉で覆うことを夢見たのですが、やはり惨敗。なかなか素敵なグリーンカーテン（目的はあくまでも節電なのですが・・）への道のりは厳しいです。そんな中でも作業をしているとたくさんの方からお声をかけていただきます。それが私たちにとって唯一の収穫です！！昨年はわずかですが、種をおすそわけすることもできました。皆さんのお宅で素敵なカーテンになっていると嬉しいなあ・・と思いつつ。今年こそは、ゴーヤを中心にところどころ可愛い花がのぞく素敵なグリーンカーテンを目指して頑張ります！！

【栄養室長 諏訪部】



看護部の部屋

皆様こんにちは。お久しぶりです。実は私、約一年前に冬季期間、こちらで働かせていただいております。夏の湯沢はどんな所なんだろう？と思い戻ってまいりました。まだ、始めたばかりですが山ガールを目指しており、休日を利用して苗場山、八海山などの色々な場所で散歩や山登りをさせていただきたいです。おすすめのコースがありましたら是非教えてください！その他、新潟の夏と言えば海、BBQ、ひまわり、花火……。沢山、楽しいことが目白押しなので満喫していきます。もちろん仕事も真剣に取り組んでいきますのでよろしくお願い致します。

【一般病棟 看護師 吉野 小夜子】

今月の話題

世の中、美談ばかりじゃない
 ～～ 東京の空の下から ～～

昨年12月の第117号で、わがままな患者の話をしました。「他の病院には行きたくない。結果が悪くても絶対に苦情を言ったりしないと約束するから、ここで診てくれ」と言う人。なぜか私の所には、こんな人が寄って来ます。この1年で少なくとも3人います。きっとどの医師の所にもこういう人は来るのですが、他の医師は上手に断っているのでしょうかねえ。私は、決して優しい方の医師ではないことを自認していますが、この私がどんなに邪険に断っても、絶対に引き下がってくれません。

ドラマでは、こういう患者を引き受けると、治療がうまく行くことになっています。(そうじゃなかったら、ドラマになりませんか・・・)しかし!世の中、そんなに甘くない。この3人の顛末は

わがまま患者1号 → ま、この人は良いですよ。専門外とは言え、私もある程度は見通しは立っていましたから。じゃあなぜ最初は断ったのかって?うまく行くと初めからわかっていれば、私だって断りませんよ。私としては許容できない危険性を感じたので最初は断ったのです。こういうのを結果オーライと言います。褒められた話ではありません。

わがまま患者2号 → 絶対死ぬと思いましたが、奇跡に奇跡が重なって、今生きながらえています。これこそドラマみたいですが、私が名医だったわけではありません。単純に運が良かっただけです。この患者を引き受けさせられた晩、私は保身のことばかり考えていました。治療できない病院に患者がわがままで居座っているのだから、死んでも私を逮捕しないで下さいと警察に本当に電話しました。(ちなみに警察は、「はい。逮捕しません」とは言いませんでした。)

わがまま患者3号 → 問題はこの人。治療はうまく行かず、病状は悪くなる一方。命まで危うくなってきたので、私がいなくに他の医師が専門病院に送り込みました。(本当にうまいですねえ。どうやって説得したのでしょうか?)専門病院は長居するところではありません。ある程度落ち着けば、またもとの病院に戻って来ます。死にそうになったのは患者のわがままのため。うまく行かなくても絶対に文句を言わないと約束があるので、患者も家族も表立って私に何か言ったりしませんが、いやいや通って来ているような雰囲気は漂わせています。私の被害妄想ではありません。男と男の約束があるのですから、こんなことになったのは患者の一方的なわがままのせいなのですから、私は平気の平左です。(私がおっと優秀ならこうはならなかった、とは言わないのがお約束です。)来るものは拒みませんが、他に移りたいなら、どうぞご自由に。日本はいい国です。気に入らない病院は勝手に変えていいのですから。紹介状は書かない、なんてケチなことは言いませんよ。

わがままにも作法というものがあります。勝手気まま、好き放題、心の趣くままとはいかないのです。悪い結果になっても文句を付けないと約束したのなら、意地にかけても守り通すこと。(上記第3号も、約束違反までは行っていません。その点は立派)「文句を付けない」は、本人はもちろん、家族や遠い親戚も含みます。死人に口なし。本人は納得していたが、遠くの親戚がネチネチと文句を付けて来たなんて話はいくらでも聞いたことがあります。自分の意志と病院の例外的厚意でわがままをきいてもらったのだから、病院に絶対に文句を付けないこと、と遺言を書いておくくらいの意気込みが欲しいところです。それとて、裁判で病院側に有利になるものかどうか、危ういですが。

こんなこと言っているから私は付け込まれるのでしょうか。「うるさい、うるさい!ハイ次の人!」と追い出してしまえばいいのでしょうか。そしたら今度は、診療拒否・応召義務違反とか言い始めるのでしょうかね。ヤレヤレ。

【医師 今井康友】

